

新規上場申請のための有価証券報告書
(I の部) の訂正報告書

エコナビスタ株式会社

【表紙】

【提出書類】	新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）の訂正報告書
【提出先】	株式会社東京証券取引所 代表取締役社長 岩永 守幸 殿
【提出日】	2023年7月6日
【会社名】	エコナビスタ株式会社
【英訳名】	EcoNaviSta, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 渡邊 君人
【本店の所在の場所】	東京都千代田区紀尾井町3番1号
【電話番号】	03-6206-9207（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経営企画室長 川又 大祐
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区紀尾井町3番1号
【電話番号】	03-6206-9207（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経営企画室長 川又 大祐

1 【新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）の訂正報告書の提出理由】

2023年6月21日付をもって提出した新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）の記載事項のうち、「第一部 企業情報 第1 企業の概況 3 事業の内容」、「第一部 企業情報 第2 事業の状況 3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析（2）経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容 ② 財政状態及び経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容」及び「第一部 企業情報 第5 経理の状況 1 財務諸表等（1）財務諸表 注記事項（ストック・オプション等関係）」の記載内容の一部を訂正するため、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報	1頁
第1 企業の概況	1
3 事業の内容	1
第2 事業の状況	2
3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容	2
② 財政状態及び経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容	2
第5 経理の状況	3
1 財務諸表等	3
(1) 財務諸表	3
注記事項	3
(ストック・オプション等関係)	3

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____罫で示してあります。

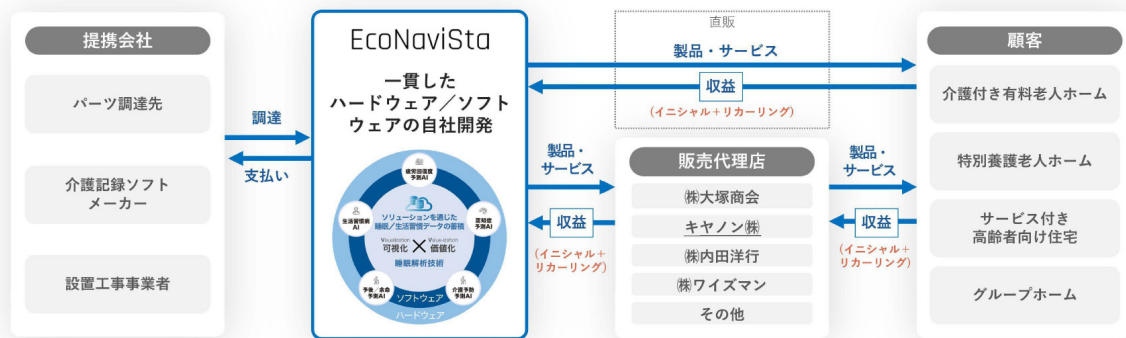
第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

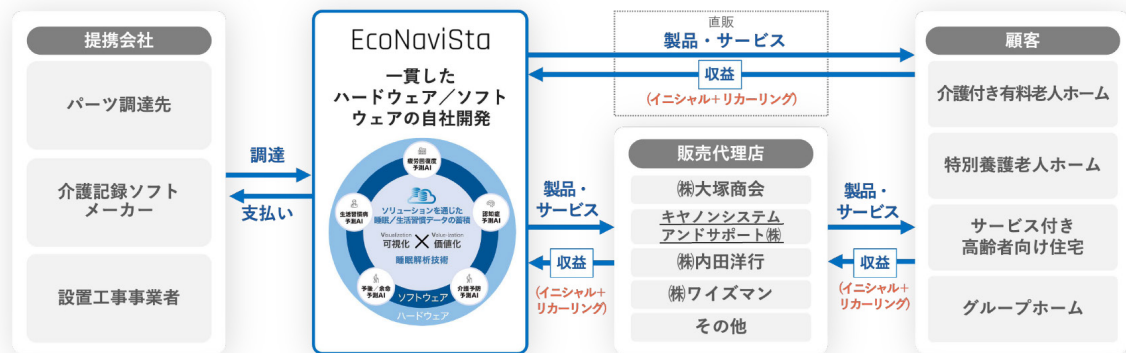
3【事業の内容】

[事業系統図]

(訂正前)



(訂正後)



第2【事業の状況】

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

② 財政状態及び経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

e. 経営方針、経営戦略、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

(訂正前)

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等につきましては、「第2 事業の状況 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等 (5)経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等」に記載のとおりライフリズムナビ+Dr.に関する導入床数、年間リカーリング収益、Churn Rateとしております。過年度における当社の各指標の進捗は以下の通りです。これは、現時点において予定どおりの進捗となっており、堅調に推移しているものと認識しております。なお現時点では売上の大部分を占めるライフリズムナビ+Dr.を対象に確認しております。

	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期
導入床数（累計床数）	1,264	2,752	5,101
年間リカーリング収益（千円）	11,417	<u>27,906</u>	59,427
Churn Rate（%）	0.25	0.00	0.02

(訂正後)

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等につきましては、「第2 事業の状況 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等 (5)経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等」に記載のとおりライフリズムナビ+Dr.に関する導入床数、年間リカーリング収益、Churn Rateとしております。過年度における当社の各指標の進捗は以下の通りです。これは、現時点において予定どおりの進捗となっており、堅調に推移しているものと認識しております。なお現時点では売上の大部分を占めるライフリズムナビ+Dr.を対象に確認しております。

	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期
導入床数（累計床数）	1,264	2,752	5,101
年間リカーリング収益（千円）	11,417	<u>27,905</u>	59,427
Churn Rate（%）	0.25	0.00	0.02

第5【経理の状況】

1【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【注記事項】

(ストック・オプション等関係)

前事業年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

5. スtock・オプションの単位当たりの本源的価値により算定を行う場合の当事業年度末における本源的価値の合計額及び当事業年度において権利行使されたストック・オプションの権利行使日における本源的価値の合計額

(訂正前)

- ① 当事業年度末における本源的価値の合計額 二千元
- ② 当事業年度において権利行使されたストック・オプションの権利行使日における本源的価値の合計額 一千元

(訂正後)

- ① 当事業年度末における本源的価値の合計額 975,575千円
- ② 当事業年度において権利行使されたストック・オプションの権利行使日における本源的価値の合計額 一千元

当事業年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

5. スtock・オプションの単位当たりの本源的価値により算定を行う場合の当事業年度末における本源的価値の合計額及び当事業年度において権利行使されたストック・オプションの権利行使日における本源的価値の合計額

(訂正前)

- ① 当事業年度末における本源的価値の合計額 二千元
- ② 当事業年度において権利行使されたストック・オプションの権利行使日における本源的価値の合計額 一千元

(訂正後)

- ① 当事業年度末における本源的価値の合計額 1,415,874千円
- ② 当事業年度において権利行使されたストック・オプションの権利行使日における本源的価値の合計額 一千元